

平成27年度事業報告

平成27年4月 1日から
平成28年3月31日まで

1. 臓器移植普及啓発事業

- (1) 県内市町村の新成人式や山形県観光物産市(8/4)などの各種イベントにおいて、リーフレットの配布による臓器提供意思表示の普及啓発等を行った。
- (2) 県立中央病院「あおやぎ祭り」(9/27)や鶴岡市主催の健康まつり(10/11)などの健康保険関係イベントにおいて、リーフレットの配布による普及啓発を行うとともに、その場で臓器提供意思表示カード等へ意思の記入をしていただいた。
- (3) モンテディオ山形と共同により作成した啓発用うちわを、ホームゲーム(7/25、8/16)において配布し、臓器提供意思表示の普及啓発等を行った。
- (4) 10月の「臓器移植普及推進月間」を中心に、県腎友会、県アイバンク、骨髄バンクを支援するやまがたの会など移植医療関係団体と合同で、臓器移植を受けた子供の絵画展(ギフトオブライフ絵画展)や普及啓発イベントを行った。

【実施場所(3ヶ所)】

イオン山形南店、きらやか銀行本店、県政発信ギャラリー(県庁ロビー)

- (5) 高等学校、大学、看護師養成所における「いのちの学習会」に、講師として臓器移植コーディネーターを派遣し、移植医療の理解を促した。

【実施場所(10ヶ所)】

つばさ保育園、新庄東高校、山形市立商業高校、篠田看護専門学校、酒田看護専門学校、山形病院附属看護学校、山形厚生看護学校、三友堂看護専門学校、荘内看護専門学校、山形市立済生館高等看護学院

- (6) 臓器移植の普及啓発のため、ポスター、パンフレット等を、県内の医療機関、大学、専門学校、高等学校、保健所、市町村、警察署などに配布した。

2. 臓器移植推進事業

- (1) 山形県からの委託により、臓器移植コーディネーターを配置した。
- (2) 移植医療に関する情報収集及び臓器移植コーディネーターの資質向上のため日本臓器移植ネットワークの症例検討会や各種研修会等に臓器移植コーディネーターを派遣した。

- (3) 病院や透析医療機関においての移植医療に係る勉強会に講師として臓器移植コーディネーターを派遣した。

【実施場所】

山形済生病院、公立置賜総合病院

- (4) 心停止下の臓器提供事案に対し臓器移植コーディネーターを派遣し、コーディネート業務等の対応を行った。
- (5) (4)における臓器提供者に対し感謝状の贈呈を行った。

【贈呈内容】

感謝状 2/10 付け贈呈

3. 臓器提供体制整備事業

- (1) これまでの臓器移植推進専門部会の検討を踏まえ、臓器提供が可能な体制の整備に向け、病院における臓器提供発生時のシミュレーションが定期的に行われるよう周知するとともにその支援を行った。

【アドバイザー等支援実施】

県立中央病院、米沢市立病院、鶴岡市立荘内病院

【臓器提供発生時のシミュレーションの実施】

日本海総合病院 (1/23)

- (2) 県内病院における臓器移植への理解を深め、臓器移植に係る体制を整備するために設置した院内コーディネーターの連絡会議・研修会を開催した (7/17、2/19)。
- (3) 医療従事者が、院内の提供体制整備に必要な知識を習得するため、関連する学会等への参加経費について一部助成を行った (県立中央病院：1名、公立置賜総合病院：2名、日本海総合病院：1名)
- (4) 臓器移植コーディネーターが、県内院内コーディネーター設置病院などを定期的に訪問し、情報交換を行った。
- (5) 臓器提供の選択肢提示の際に使用するパンフレットを作成し、県立中央病院で実施した。

4. その他 (財団資金確保)

- (1) 医療機関、金融機関、市町村等の窓口に活動支援募金箱を設置し、募金活動を行った。

【募金総額：374,092円】

- (2) イオングループが行う黄色いレシートキャンペーンに参加し、店頭における寄付活動を行った (6月、11月)。